

経営比較分析表（平成28年度決算）

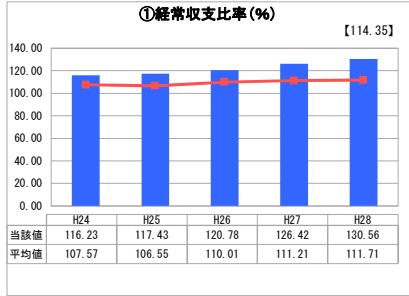
岐阜県 北方町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.04	94.63	1,544	

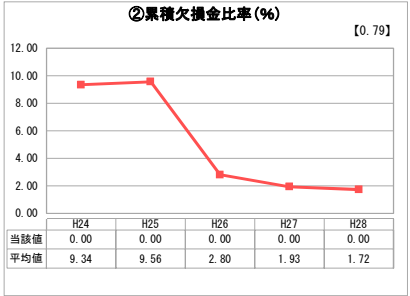
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,389	5.18	3,550.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,366	5.17	3,358.99

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

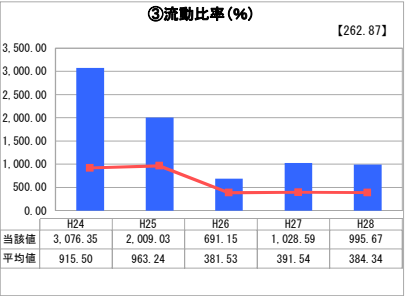
1. 経営の健全性・効率性



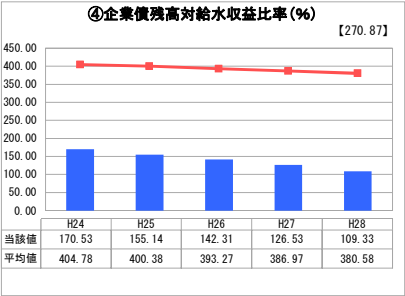
「経常損益」



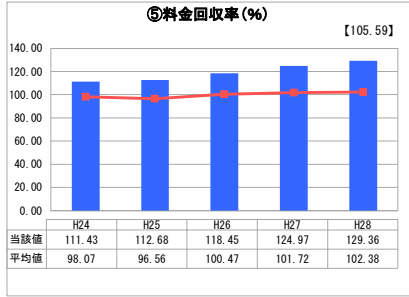
「累積欠損」



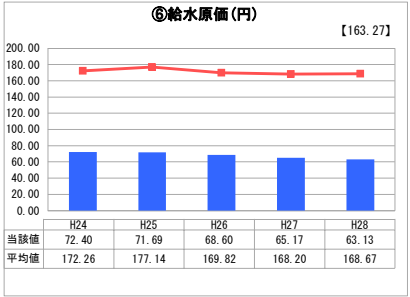
「支払能力」



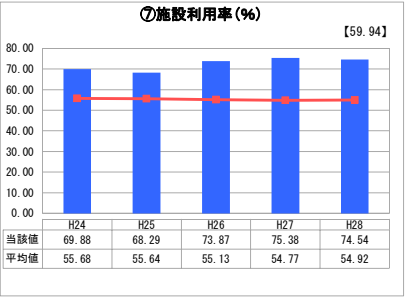
「債務残高」



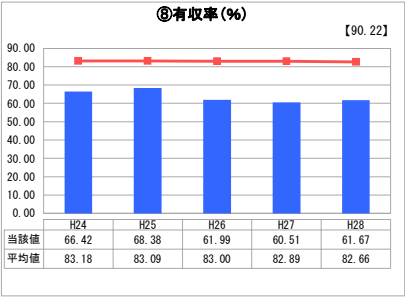
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

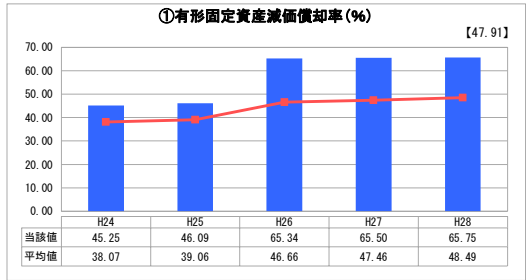


「施設の効率性」

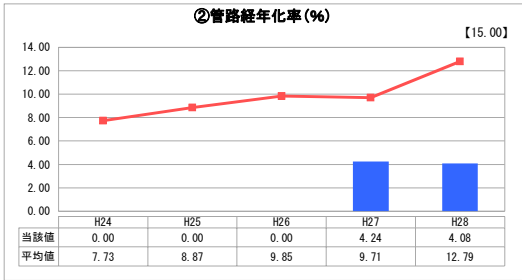


「供給した配水量の効率性」

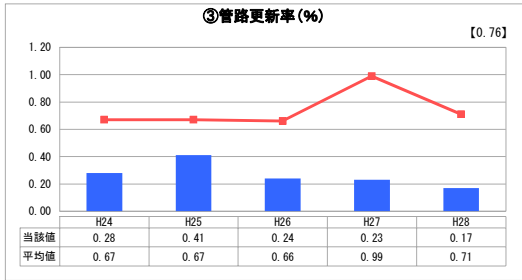
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、引き続き経常収支比率及び流動比率が100%を超えており、収支は黒字で債務に係る支払能力も十分と考えられる。要因としては、本町は平坦地で県下一人口密度が高く、各世帯へ効率的に給水が行えるためである。また、企業債残高対給水収益比率も低く、投資規模は適切であると思われる。また、水源として地下水を使用しているため料金回収率が高く、給水原価が低く抑えられている。しかし、有収率は類似団体の水準を下回っており、老朽管の布設替等により今後も漏水対策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数に近づいている保有資産が多く、有形固定資産減価償却率が高い。また、管路更新率も低い。今後更新需要の高まりが見込まれ、老朽化した管路の計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

有収率向上の取り組みについて、平成28年度に策定した長寿命化計画に基づき管路更新を進め漏水防止対策を継続して実施する。平成29年度に経営戦略を策定する予定である。現在の供給能力と実際給水量の分析を行い、そのギャップについて把握し、必要な需要額を賄う財源を中長期的な経営の中で計画的かつ適切に確保する。現状把握・目標設定・事後検証に活用し、投資の優先順位付けを行う。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。